

11. 株式会社よむべえ 音声拡大読書器 快速よむべえ

<p>機器・サービスの概要</p>	<p>音声読書器『快速よむべえ』は、視覚障害者や弱視者が印刷物の内容を音声や拡大表示で把握できる機器です。行政文書や郵便物などへの自立した情報アクセスを支援します。</p>
<p>機器・サービスの機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚障害者が、日常生活や社会参加の場面で印刷物の情報を取得可能とする音声読書器 ● 印刷物を卓上に置くだけで、カメラ撮影と高精度OCRにより文字認識し、音声読み上げ ● 生成AIを活用し、文章の要約、説明、翻訳を行うことで内容理解を支援 ● 必要な情報のみを抽出して読み上げる機能(例:賞味期限、要点部分)を搭載 ● 外部ディスプレイに接続することで、弱視者向けの拡大読書器としても利用可能 ● 視力状態の変化に応じて、音声読書と拡大読書を切り替えながら継続利用が可能
<p>情報アクセシビリティの配慮内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚に依存しない操作を可能とする、物理ボタンと音声ガイダンスによる操作体系を採用 ● 操作内容を音声で案内し、二段階操作により誤操作を防止 ● 状態変化やエラーについて、必ず音声でフィードバックする設計 ● 音量や読み上げ速度などの設定を利用者ごとに保存し、継続利用を支援 ● 墨字版、点字版、音声CD、オンライン版など複数形式の取扱説明書を提供 ● 弱視者に配慮した拡大表示や配色調整が可能な表示設計
<p>問合せ先</p>	<p>問い合わせフォーム: https://www.yomube.co.jp/information/ 電話番号: 050-1791-2070</p>

よむべえ
YOMUBE is for the visually impaired.



音声読書器『快速よむべえシリーズ』は、
全てのモデルが“拡大読書器”
としても使えます。



印刷物を置く

原稿ガイドに合わせて、読ませたいものを置きます。

読み取る

音声ガイドと2段階操作で、使いたい機能を確実に。

読み上げを聞く

認識した文字情報を、音声で読み上げます。

快速よむべえ × 生成 AI

1人でも簡単に情報を得られる自立型支援を実現

- 郵便、チラシ
- 新聞
- 銀行通帳
- レシート
- 翻訳
- グラフ、写真
- 画像認識
- 文字起こし
- 賞味期限
- レシピ
- 不在票、手書き
- カタログ
- セキュリティ
- 書類
- 切符

当事者ニーズを踏まえた開発

- 開発初期段階から、視覚障害者へのヒアリングを継続的に実施
- 展示会、アンケート、自社メディア等を通じて日常生活上の課題を収集
- 操作内容を音声で案内し、二度押しで実行する方式を当事者の声を基に採用
- 「短く知りたい」「必要な情報だけ知りたい」という要望から、要約や特定項目抽出機能を開発
- 拡大表示の配色や倍率設定を、当事者の評価を基に調整

企業としての組織的な取組

当事者参画を前提とした組織運営

- 社内に視覚障害のあるスタッフが在籍し、視覚に依存しない情報共有や説明方法を日常業務で実践するなど、アクセシビリティを組織文化として定着させている。

継続的な支援体制と社会展開

- 電話・メールによるサポートや利用者との継続的な対話を通じて改善を行うとともに、図書館や自治体など公共施設への導入を進め、地域社会全体の情報アクセシビリティ向上に取り組んでいる。

審査結果の概要



生成AIの活用により「文字以外の情報」へのアクセスを実現

- AIを活用した画像認識により、従来の文字読み上げに加え、写真やイラストの状況説明、要約、手書き文字認識まで可能にした点が高く評価されている。また、預金通帳への対応など、実生活の多様なシーンで視覚障害者が「知りたい」情報にアクセスできる実用性が支持されている。



高齢者や視覚障害者も高精度な機能を迷わず操作できる設計

- スマートフォンの利用にハードルを感じる高齢者や視覚障害者にとっても高精度な機能を迷わず操作できる点が評価されている。また、誤操作を防ぐ物理キーや音声入力、弱視者向けの画面表示調整など、アクセシビリティ・ユーザビリティを追求した設計が評価されている。



当事者参画による開発体制と公共インフラへの展開

- 開発において視覚障害当事者が参画し、課題解決を行う開発体制が確立されている。さらに、図書館等の公共機関への導入を推進し、多言語対応などを含めた社会全体の情報バリアフリー化を目指す姿勢が高く評価されている。